
区切りをつけないと書けない人

ケセンネさん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

区切りをつけないと書けない人

【Zコード】

Z5591V

【作者名】

ケセンネさん

【あらすじ】

何かを始めるときに宣言しないと気が済まないと、自分のことだけれども、今気がついた。

なので、始めますよ宣言のある意味選手宣誓なのである。

昔から作文が億劫だつたということを今になつて思い出した。

小学校のころは200字詰めの原稿用紙を前に、
中学校のころは400字詰めの原稿用紙を前に。
高校生のころは原稿用紙が複数枚に変わり、
大学生のころはレポート用紙に変わり。

そして、今、パソコンの画面を前にして新たに気がついた。
実は億劫であることに含まれている最も重要な事。

それは、田や。

何かを始めようといつ時に田の前に現れる紙の白や。
何かを書きたいはずなのに無言の圧力をもつティスプレイの白や。
どうして、自分から表現をしようとしているのに、
どうして、物語の登場人物はいろいろな感情を持っているはずなのに、

どうして、画面の前の私の顔はしかめつらをしているのか。

今は違う。

漠然とした頭の中に移ろいゆく様々なイメージ、想像を、
表現する為に私はここにいる。

だから、今の感情を捉えて、それを第一歩とする。

つれづれなるままで、田ぐらし硯がめんに向かひて、

心にひつひつとよくよしなじ」とをかはせかとなべて書を付ければ、
あやじひこを物狂ほしけれ。

(後書き)

とこひわなでよひじへお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5591v/>

区切りをつけないと書けない人

2011年10月9日13時26分発行